

〈明らかになった3つの大問題〉

1 なにもない原っぱと憩い・安らぎの公園がスポーツのメッカに大改造！！

現公園スペースの完成面積 $65,000 \text{ m}^2$

- ・陸上トラック 300m、直線 100m(フィールド含む) $5,900 \text{ m}^2$ (草地広場は実質半分)
- ・300本の木を処分して多目的広場へ拡張 (現少年スポーツ広場 $4,200 \text{ m}^2$) $6,600 \text{ m}^2$
- ・未開園部分に体育館 $5,631 \text{ m}^2$ (会試算)

実質合計 $18,131 \text{ m}^2$ 公園の 27.8% 約 3割が運動施設

赤ちゃんからお年よりまで、いつでも自由にのびのび遊んでいる公園が様変わり。

こんなビフォー・アフターはだれも望んでいません。

2 陸上トラックを作って欲しいという具体的要望はない。(区説明)

出席して発言した人の全てが反対を表明した陸上トラックの設置。それでは、誰が要望しているかとの質問に対し、中野区は、競技団体からの要望書、個人からの意見要望等を含め、文書で示せるものはないことを認めました。

それではなぜ、貴重な草地広場を分断し、子どもたちを危険にさらし、ほとんど使われることもない、アスリートも中途半端という 300m、しかも設置費用 2 億円弱、更に維持管理費もかかる陸上トラックに固執するのか？

目の前の大勢の「要らない」の声は聞こえず、目の前に示せない要望を尊重する中野区。

いったいだれを見て計画をつくっているのでしょうか？

(田中区長は 4 月 11 日の区長との対話集会で、「議会の了承を得ている」と発言していますが、中野区は 3 月 15 日の議会で陸上トラックには区民からの要望があると説明しています。事実と異なる説明の下に行われた議会の「了承」は無効という他ありません。)

3 体育館建設について、工法、費用など東京都との具体的協議はまだ。

将来、地下に下水道施設を建設することになっている土地の上に先行して設置される体育館の建設費。無理な工事のために多額の費用がかかるのではないかという質問に対し、中野区は 4 月 8 日にはいくつかの工法があり経費は示せないと回答しました。11 日には工法は 2 つぐらいに絞られているが、東京都と協議中なので明らかにできないと、さも協議が進んでいるかのように答えました。

しかし、会が東京都下水道局に直接問い合わせたところ、体育館建設の検討に協力するとは言ったが、具体的工法や費用負担のあり方についてはまだ相談を受けていないとの回答でした。意見交換会ではその場限りの言い逃れをしたということでしょうか。

体育館は大型公共事業。予算の見込みもできてない、あるいは公表できないような基本計画は計画の名に値しません。

中野区自治基本条例第 8 条は、「区は、区議会の議決を経て、区政運営の指針となる基本構想を、財政見通しを踏まえた上で定める」と規定しています。基本構想の下につくられる基本計画には、当然より詳細な財政見通しを示すべきです。

中野区は 3 回の再整備基本計画（素案）意見交換会の反対意見は記録に残すだけで、計画はすすめると言い放ちました。平和の森公園の無謀な大改造計画をストップさせるため、新たな行動を起こしていきましょう。